

加圧脱水ケーキを利用したイチゴ育苗ではリン酸肥料の施肥により生理障害を軽減できる

相模原浄水場から採取した加圧脱水ケーキをイチゴ育苗に用いる場合、混合する資材の有無や量、種類に関わらず、苗の生育は培土中のリン酸含量に影響されることを明らかにしました（図1）。

加圧脱水ケーキをイチゴの育苗に用いる時、リン酸を添加しないとリン酸欠乏症と思われる生理障害が観察されます（図3）。

3.5号黒ポット（450mL（v/v））で育苗した時、ポット当たりリン酸肥料を成分で1g程度（重焼燐2号で約3.5g/pot）混合すれば、正常に生育します（図2、4）。

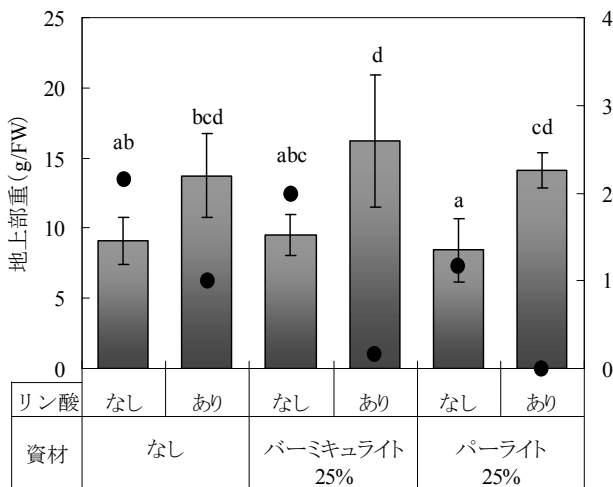


図1 資材とリン酸の影響

注) 資材の混合率は体積当たり、各肥料要素混合区は1ポット当たり、成分で窒素は62mg、リン酸は550mgを混合。生理障害程度は葉の観察により、0：障害なし、1：葉に黄変あり、2：葉縁が褐変、3：葉脈が赤紫変、4：葉脈が褐変の5段階で評価。異なるアルファベット間にはTukeyの多重検定により5%水準で有意差あり。バーは標準偏差を示す。

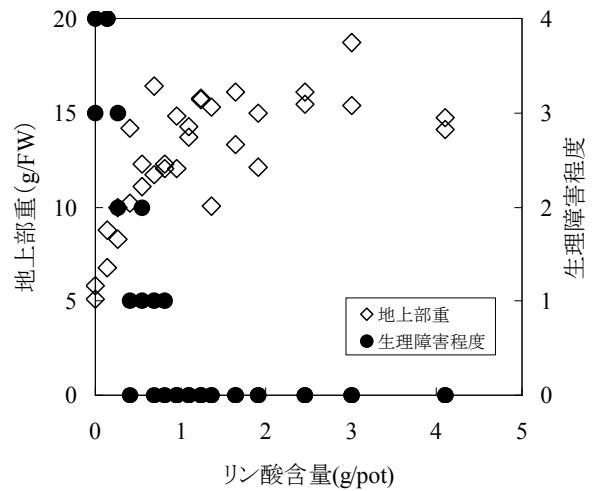


図2 リン酸含量の影響

注) 全区に窒素を成分で62mg混合、生理障害程度は図1参照



図3 調査時に観察された生理障害

注) 窒素、リン酸施用なし

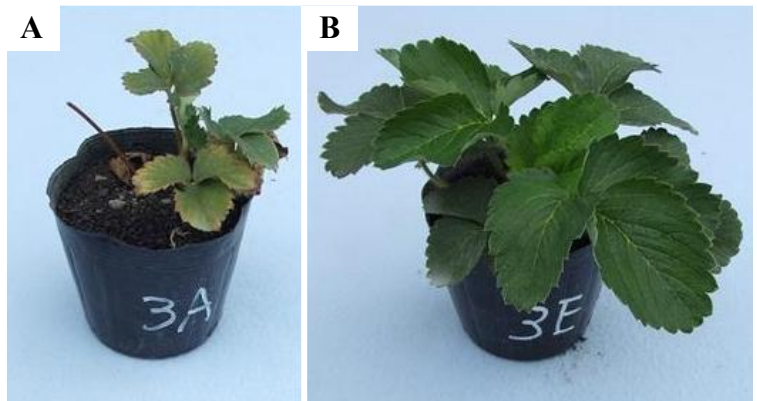


図4 調査時のイチゴ苗

A：リン酸なし、B：リン酸1.1g/pot混合
両区とも窒素は成分で62mg混合